



2013年1月29日

報道関係各位

「弁当の日」応援プロジェクト

講演会助成団体募集のお知らせ

「弁当の日」応援プロジェクト事務局では、2012年度に引き続き、子どもがひとりで弁当を作る「弁当の日」の普及推進を目的として、講演会開催を希望する学校やPTAなどへの講師派遣の費用助成を行います。「弁当の日」の趣旨を理解、賛同し、普及推進に取り組まれる方のご応募をお待ちしております。

応募要項

●助成概要

(1) 対象となる事業

学校・PTA・ボランティアグループ等が行う、営利を目的としないもの
「弁当の日」の普及推進を目的としたもの

(2) 助成金額

開催に必要な講師謝礼・交通費・宿泊費を1件20万円を上限として、講師へ直接事務局より支払います。応募団体が一部自己負担可能な場合は差額を助成します。

(3) 助成対象期間

平成25年4月1日以降、26年3月末日までに終了予定のもの

●募集スケジュールなど

募集開始	2013年1月29日(火)
応募〆切	2013年3月7日(木)
募集結果発表	2013年3月18日(月)
助成期間	2013年4月～2014年3月末
報告書提出	2014年5月末

●選考基準

選考される助成対象は、次の条件を満たすものとします。

申込者が本事業の目的に沿った実効を具現しうると判断されるもの

「弁当の日」の理解促進、普及を目的とするもの

営利目的でないもの

既に講演会などを開催した実績の無い団体を優先

●応募申込

いずれの場合も、下記必要事項を記載して事務局宛お送り下さい。

記入に不備がある場合は、無効となる場合もございますので、ご注意ください。

なお、電話でのお申し込みは受け付けていません。

- ①申込み者 氏名・連絡先（できればメールアドレスも）
- ②主催者名
- ③開催希望日時（第3希望まで）
- ④開催場所
- ⑤参加予定人数
- ⑥最寄駅から会場までの交通手段と所要時間
- ⑦希望講師の指定有無・指定がある場合は講師名
- ⑧応募理由
- ⑨自己負担可能金額（税込）
- ⑩当日会場での事務局資料配布の可否
- ⑪書籍販売の可否

1. 「弁当の日」応援プロジェクトHP

http://www.kyodo.co.jp/bentounohi/furtherance_of_lecture_2013

より上記必要事項を記載してお送り下さい。

2. 郵便・FAX

「弁当の日」応援プロジェクト事務局宛に上記必要事項を記載してお送りください。

〒103-0027

東京都港区東新橋1-7-1 汐留メディアタワー

株式会社共同通信社内

FAX：03-6252-6037

●応募の締切日

平成25年3月7日（木） 必着

（注）締切日を過ぎての受付はいたしません。

●助成の決定と通知

事務局が選考基準に基づいて選考を行い決定いたします。

採否の結果は、平成25年3月18日（月）HP上で発表、該当者へは別途応募者あて文書にて通知いたします。

また、実施にあたっては、正式な申込書を郵送にてお送りしますので、事務局宛ご返送下さい。

●助成金の支払い

助成金は、助成対象事業終了後、直接講師に事務局より支払います。

●報告の義務

助成対象事業終了後2カ月以内に、所定の「実施報告書」を必ず提出していただきます。

●事業の公表

事務局が助成した事業については、その実施内容を公表します。

●個人情報と情報公開について

申込書などにご記入いただいた個人情報は、選考手続きに使用するほか、選考結果の連絡に利用いたします。ご記入いただいた情報は、このたびの助成のみに使用し、他の目的には使用いたしません。助成先として採用された学校(団体・個人)につきましても、平成24年度助成先情報として公開します。

●留意事項

採否の理由等、選考に関するお問い合わせには応じられません。

提出された「申込書等」の書類は返却いたしません。

営利を目的とする事業・既に完了している事業は対象にいたしません。

助成決定後、実施困難になった場合及び大幅な内容変更が生じた場合には、必ずご報告ください。これらの場合、本事務局からの助成を中止させていただく場合があります。

「弁当の日」応援プロジェクト

「弁当の日」の普及・啓発活動の推進を目的として、下記協賛企業各社の協力により運営しています。

協賛企業 (50音順)

クリナップ株式会社 積水ハウス株式会社 全国農業協同組合連合会 東京ガス株式会社

2013年度より下記の企業が協賛予定です。

株式会社シジシージャパン 住友生命保険相互会社 日本タッパーウェア株式会社

【連絡先】

「弁当の日」応援プロジェクト事務局 <http://www.kyodo.co.jp/bentounohi/>

(株)共同通信社 情報企画本部 企画部内

〒105-7208 港区東新橋1-7-1 汐留メディアタワー8F

TEL:03-6252-6031 FAX:03-6252-6037

担当: 田村・倉科 E-mail: kki.bentounohi@kyodonews.jp

「弁当の日」応援プロジェクト 派遣講師 (順不同)

竹下 和男 (たけした かずお) : 「弁当の日」提唱者

1949年生まれ

小学校、中学校教員、教育行政職を経て 2000年度より綾南町立滝宮小学校校長 (弁当の日を始める)

2003年度より国分寺町立国分寺中学校校長 2008年度より綾川町立綾上中学校校長

2011年度よりフリーで執筆・講演活動中

内田 美智子 (うちだ みちこ) : 助産士 1957年生まれ

「生」「性」「いのち」「食」をテーマに全国で講演活動を展開。

佐藤 弘 (さとう ひろし) : 西日本新聞社 編集委員 1961年生まれ

西日本新聞の長期企画「食卓の向こう側」で弁当の日を取材。現在、生活特報部にて「食・農・くらし」担当。

佐藤 剛史 (さとう ごうし) : 九州大学大学院農学研究院助教、農学博士 1973年生まれ

九州大学で大学生による一品持ち寄り弁当の日を実施。年間の講演、ワークショップの回数は100回を超える。

比良松 道一 (ひらまつ みちかず) : 九州大学農学研究院園芸学分野助教 農学博士 1965年生まれ

福岡県農業総合試験場を経て現職。食・環境・子育てに関する講義・講演・ワークショップを展開中。

稲益 義宏 (いなます よしひろ) : 福岡市立愛宕小学校教諭 1966年生まれ。

弁当の日は、担任1人でも始められるコース別弁当の日「イナマス方式」を実践。子どもたちが自分でできる食の実践力を高める学習を展開。

渡邊 美穂 (わたなべ みほ) : フリーライター

西日本新聞社記者として「食卓の向こう側」の取材を通じ、食の大切さを痛感。2006年退社後フリーライターとして雑誌や書籍を執筆、講演活動も行っている。

船ヶ山 清史 (ふなやま きよふみ) : うどん茶房ふなや経営 1975年生まれ

2011年4月開催された「ひろがれ 弁当の日 in 宮崎〜輝く笑顔と団欒〜」実行委員長。学校を中心に講演、弁当の日の育む、子育ての素晴らしさ、子供の成長の喜びを伝えている。

その他、「弁当の日」の実践者など多数講師候補あり。

「弁当の日」に関する竹下和男氏の講演内容詳細は、下記をご参照ください。

http://www.sekisuihouse.com/nattoku/koubou/seminar_event/public/back_paper/sp7.pdf

○ 2012年度 「弁当の日」 応援プロジェクト 助成対象事業一覧

団体名	東京都荒川区立 第六日暮里小学 校	宮崎県宮崎市 木花地区4校 連絡協議会	東京都足立区立 第八中学校	宮城県登米市立 新田小学校	大阪府門真市 教育委員会	千葉県印旛郡 栄町健康保険課
開催日	2012年 7月14日(土) ②8月7日(火) ③10月27日(土)	2012年8月25日 (土)	2012年11月20 日(火)	2012年12月1日 (土)	2013年1月24日 (木)	2013年2月2日 (土)
開催時 刻	①10:00-12:00 ②③10:30-13:00	18:00-20:00	13:30-16:00	14:00-15:10	13:30-16:45	13:30-15:30
開催場 所	①③荒川区立第 六日暮里小学校 ②東京ガス ス タジオプラスジ ーギンザ	宮崎県武道館大 会議室	足立区立第八中 学校	宮城県登米市立 新田小学校アリ ーナ	門真市ルミエール 小ホール	ふれあいプラザ さかえ大会議室
参加者 数	①46名②14名 ③17名	130名	第一部 332名 第二部 70名	75名	200名	120名
講師	比良松 道一氏	佐藤 弘氏・ 船ヶ山 清史氏	内田 美智子氏	稲益 義宏氏	竹下 和男氏	竹下 和男氏
演題	①「子どもが作る お弁当」 ②③子ども料理 教室	佐藤氏「食卓の向 こう側に見える もの～だから食 育なんだ～」 船ヶ山氏「『弁当 の日』を通して見 えてた親子の絆」	「ヒトは食によ り人となるー弁 当の日は生みだ す『生』教育」	「できる！を伸 ばす弁当の日」	「心を育む弁当の 日」	「弁当の日」と子 育て